

入野小学校 校長室だより

2015. 12. 25(金) No. 31 文責：芝

固い話で恐縮ですが…

今年最後の「校長室だより」なのに、読んでいただけそうにない話題から始めて申し訳ありませんが、子どもたちの進路に関係したことです。ご容赦下さい。子どもたちの話し方・伝え方について、これからどう対応していこうかと思案していることです。

今年のPTA総会の時、保護者の皆さんに「今年の高校1年生が受けた試験から試験時間が長くなった」ことをお伝えしました。その主な理由として、「自分の考えを文にして答える問題が多くなったこと」、「国語では、問題文について、あなたは思うのかを答える問題が加わったこと」、そして、この傾向が続きそうだということをお話ししました。

12月23日(水)の高知新聞の一面に「記述式 国・数から導入」という見出しで、大学入試センター試験から替わる新方式の試験についての記事が出ていました。5年後からのことです。マークシート方式だった大学入試センター試験に替わる試験に記述式問題が導入されるのですから、今後も高校入試の中にも記述式の問題が続いていくことは間違いないことだと思います。

小学校では今年度から新しい教科書に替わりましたが、やはり、考えを述べる・書くということが、より意識された内容になっていると感じます。このような流れで課題になってくるとは、自分の考えを文にして答えることが苦手な子どもたちが少なくないこと、短時間で上達することではないことです。「教えて出来るようになること」と言うよりも「育てて出来るようになること」だと言えるでしょう。時間がかかりそうです。

入野小学校では「校長室だよりNo.10」でご紹介したように、上級生の「くろしおタイム」の中に新聞記事を使う取組を加えています。このような特別な取組も行いますが、基本はきちんとした話し方を心がけることではないかとも思います。四六時中は無理でも、時には意図してきちんとした話し方・伝え方を自分もするし、子どもにも要求する、そんなことが大切ではないかと考えているところです。

冬至の朝の元気が出る話

固い話題から入りましたので、子どもたちの話題に移りたいと思います。下の写真は「冬至の日の朝マラソン」、ずいぶん太陽の位置が低くて、子どもたちの長い影が印象的でした。



朝マラソンを走り終えた1年生の女の子が私に近づいて来て、こんなことを言いました。「駅伝選手に選ばれて、(朝マラソンを)走るのが速くなった。」

朝マラソンを頑張ったから選手に選ばれたのかもしれませんが、このところの練習の成果かもしれません。子どもから、このような向上したという話を聞くと、本当に元気をもらう気がします。うれしい冬至の朝でした。

学校は明日から冬休みに入ります。14日間ですが、家族や地域の繋がりを深く濃く学べるチャンスがある時期です。有意義に過ごして欲しいと願っています。

それでは、良いお年をお迎え下さい。